

2025年8月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研究普及委員会 原田・野村

JARIP 研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研究会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究会の概要

講演題目：「現代の時系列解析：手法選択と実践的課題」

日時：2025年9月13日（土曜日） 開始：15:00、 終了：17:00

場所：対面と Zoom のハイブリッド開催

- ① 対面：早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 1105教室
(エレベーターにて11階に上がって左にお進みください)

早稲田大学へのアクセスはこちらをご参考にしてください

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

早稲田大学のキャンパスマップはこちらです

<https://waseda.app.box.com/s/ctvnsi6nckz4yk9kkrch64av0od0ai9t>

- ② Zoom：参加申込期日後に参加用 URL をお知らせいたします

講師：宮田章弘氏（チューリッヒ保険会社 データサイエンティスト）

野村俊一氏（早稲田大学大学院会計研究科 准教授）

（講師略歴は次項）

講演概要：

近年の機械学習・AIの急速な発展に伴い、時系列解析手法も大きな進展を遂げている。機械学習に基づく時系列解析モデルは、非線形で複雑な挙動を示す大規模時系列データの解析において優れた性能を発揮し、生成AIによるコーディング支援もこうしたモデルの普及を後押ししている。最近では時系列解析に特化した大規模言語モデルも登場し、注目を集めている。

その一方で、ARIMAモデルなどの伝統的な統計手法も、データが小規模で線形な挙動を示す場面において、依然として堅牢かつ解釈性の高い選択肢であり続けている。このような状況下で、実務者ならびに研究者にとって時系列解析における適切な手法選択は重要な課題となっている。

本研究会では、まず野村より伝統的手法から最新の機械学習・AIベースの手法まで、現代の時系列解析技術の全体像を俯瞰し、時系列解析の目的やデータの特性に応じた手法選択について整理を試みる。また、保険数理分野における時系列解析の応用についても概観する。続いて、宮田

氏より先進的な時系列解析の好事例として、ニューラルネットワークを用いた死亡率予測の研究を紹介いただく。最後に、実践上の技術的課題や精度向上のための工夫について、参加者も交えた議論と情報交換を通じて知見を共有したい。

2. 参加費

無料

3. 参加申し込み

期日:2025年9月10日(水) 13時

下記【専用申込フォーム】より申し込みください。

<https://jarip.org/appjarip/?a=addSeminar>

4. 講師略歴

宮田章弘氏 (チューリッヒ保険会社 データサイエンティスト)

2022年明治大学大学院先端数理科学研究科修士課程修了。2022年チューリッヒ保険会社入社。

原著論文: Miyata, A., & Matsuyama, N. (2022). Extending the Lee–Carter model with variational autoencoder: A fusion of neural network and Bayesian approach. *ASTIN Bulletin: The Journal of the IAA*, 52(3), 789-812.

野村俊一氏 (早稲田大学大学院会計研究科 准教授)

2007年東京大学情報理工学系研究科修士課程修了、2012年総合研究大学院大学複合科学研究科統計科学専攻(博士後期課程)修了。2007年株式会社損害保険ジャパン入社、2013年東京工業大学情報理工学研究科助教、2016年同学院助教、2017年情報・システム研究機構統計数理研究所助教を経て、2021年より現職。日本アクチュアリー会正会員。著書に「カルマンフィルタ」「点過程の時系列解析」(共立出版)。